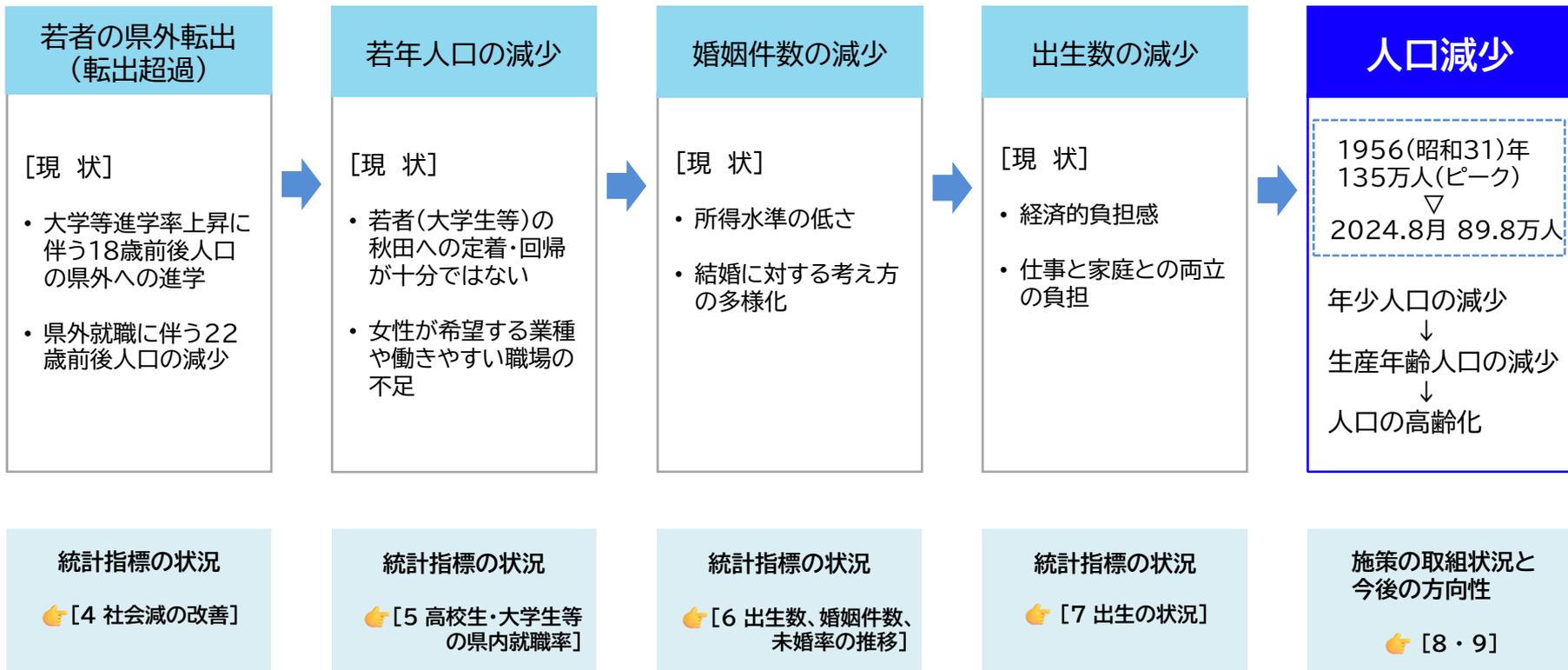




3 人口減少の進行プロセス

- 人口減少の要因は出生数の減少にあり、出生数の減少の要因は婚姻件数の減少等にある※。
 - 婚姻件数の減少要因は、主に若い世代の減少にあり、その要因は、過去の出生数の減少による影響と共に、現在まで続く若者の県外転出(高校卒業時の県外進学・就職、県内大学卒業時の県外就職)にある。
- ※日本では婚外子の割合は西欧等と比べて極端に少ない



人口減少問題の克服に向けた『未来づくり』戦略の考え方

背景

①若者に魅力ある環境整備の不足

要因

1. 首都圏との賃金格差
2. 職種の選択肢の少なさ
3. 娯楽（大型商業施設等）の不足、エンターテインメント中心地からの距離感
4. 生活の利便性の低さ
5. アンコンシャスバイアスの存在
6. 地域コミュニティの希薄化



(STEP1)

若者や女性に選ばれる社会づくり

②若者の県内回帰・定着の不足

要因

1. （再掲）首都圏との賃金格差
2. （再掲）職種の選択肢の少なさ
3. 難関大学・大手企業へ挑戦したい若者の受け皿がない
4. 若者にとって魅力ある企業・採用情報が届いていない
5. 自然の豊かさなどあきた暮らしの魅力の発信不足
6. 地方暮らしにおける優位性の周知不足



(STEP2)

県内就職情報を把握した上での合理的な判断の確保

③結婚・出産件数の減少

要因

1. 出会いの機会の減少
2. 結婚に対するハードルの高さ
3. 晩婚化・晩産化の進行
4. 共働きの一般化
5. 家事等無償労働時間の偏り
6. 進学率上昇に伴う教育費用の増加



(STEP3)

希望する結婚・出産の実現

目指す姿

寛容で持続可能な地域社会の構築

未来を切り拓く秋田移住・就職の促進

出会いから子育てまで希望がもてる社会の実現

未来づくり戦略

1. 寛容で多様性に満ちたあきたづくり
 - ・多様な生き方に対する理解促進
 - ・多様な生き方を応援する県民意識の醸成
2. 誰もが活躍・挑戦できる環境づくり
 - ・若者が挑戦できる気運の醸成
 - ・挑戦する若者に対する地域のサポート体制の整備

※（資料3）P1～P2参照

1. 持続可能な地域づくり
 - ・コミュニティの状況に応じた伴走支援

※（資料3）P2参照

1. 首都圏等からの移住の加速
 - ・移住先の理解を深める来県促進
 - ・ミスマッチ解消のための就業体験
 - ・移住サポート団体の活用
 - ・自己実現につながる関係性構築の機会の創出
2. 若者の県内定着・回帰の強化
 - ・県外進学者とのつながりの確保
 - ・県内就職希望者へのきめ細かな指導・意見の聞き取り
3. デジタルを活用した移住・定住対策の強化

※（資料3）P3～P4参照

1. 結婚に対する気運の醸成と支援の強化
 - ・求められる出会いの場のマーケティング
 - ・自然な出会いの機会の提供
 - ・子育て中の母親が息抜きできるサービスやイベントの提供
2. 安心して出産できる環境づくり
 - ・出産への保険適用や助成
 - ・無痛分娩実施医療機関の拡大
3. 子育てを社会全体で支える体制づくり
 - ・一時預り拠点の積極的な周知
 - ・子育て家庭へのサポート体制の充実

※（資料3）P5～P6参照

施策の方向性

その他の戦略